

海洋プラスチックごみ防止に向けた取組







1 海洋プラスチックごみ問題

世界では、毎年800万トンものプラスチックごみが海に流れ込んでいると推計されており、県内の海岸でも、普段の生活から出たと思われるペットボトルやレジ袋などが大量に見つかっています。

海に流れ込んだプラスチックごみは自然分解されにくく、小さく砕けても長期にわたり海に残存するため、生態系や人の健康への影響が懸念されています。

2 海洋プラスチックごみ防止に向けた県の取組

本県では、令和元年5月から、ごみ削減に必要な従来の3Rに、プラスチックごみの発生抑制や海洋流出防止のために新たな3つのRを加えて、本県独自の「6R（ろくあーる）」とし、その実践に県民総参加で取り組んでいます。

従来の3R		本県独自の3R	
 Reduce 減らす マイバッグ・マイボトル等を携行する	 Refuse 断る 不要な使い捨てスプーンやフォーク、包装は断る		
 Reuse 繰り返し使う プラスチック製品をリユースする取組に参加する	 Return 戻す プラスチック容器の店頭回収を利用する		
 Recycle 資源として再び利用する 地域の市町のルールに従ってプラスチックごみは分別し、リサイクルに回す	 Recover 回復させる 地域の海岸、河川、道路等の清掃活動を開催し、又は参加する		

3 令和3年度の実績

①清掃活動の実施

令和3年5月9日に浜松市等が主催した「第32回ウエルカメクリーン作戦」に協働して参加しました。当日は約2,400人の参加があり、3.31トンのごみを回収しました。

令和3年10月30日には県主催の清掃活動（シンボルイベント）を（一財）セブン-イレブン記念財団と共同で、富士市内の海岸で開催しました。山梨県、富士市及び認定NPO法人富士山クラブの協力を得て、約200人が参加しました。



第32回ウエルカメクリーン作戦の様子

②社会教育施設や大型商業施設での展示

例年、社会教育施設や大型商業施設で「6 R 県民運動」の啓発展示を実施しています。令和3年度は県立中央図書館（9月）とイオンモール富士宮（2月）で実施しました。



県立中央図書館での展示の様子



イオンモール富士宮での展示の様子

③県民参加型啓発キャンペーンの実施（7月1日～9月30日）

海のプラスチックごみを減らすために実践している写真又は宣言をSNS等で応募すると抽選で賞品が当たる「6 Rで海のごみをへらすのであ〜るキャンペーン」を実施しました。期間中、634件の応募がありました。

④啓発資材の提供（通年）

「6 R 県民運動」の広報のため、賛同者に啓発資材を提供しました。

(啓発資材の一部)

動画	チラシ	子ども向けパンフレット
缶バッチ/マグネット	釣りゲーム	卓上のぼり旗